

書店システム  
書店POSデータ公開サービス

リアルタイムの情報、はやまる作業速度！

Shinbunka ONLINE  
【出版業界唯一の専門紙 新文化】



KOWA COMPUTER

もっと儲かる出版社になるための  
出版ERPシステム  
出版・書店統合システムの株式会社

書店向けトータル管理システム  
SUPER BOOK SHOP  
光和コンピューター

# 全国大学生生活協同組合連合会

## 全国大学生協連のご案内 ▶ 概要

名称  
全国大学生生活協同組合連合会 (略称: 全国大学生協連)

代表  
会長理事 庄司興吉(しょうじ こうきち)  
専務理事 和田寿昭(わだ としあき)

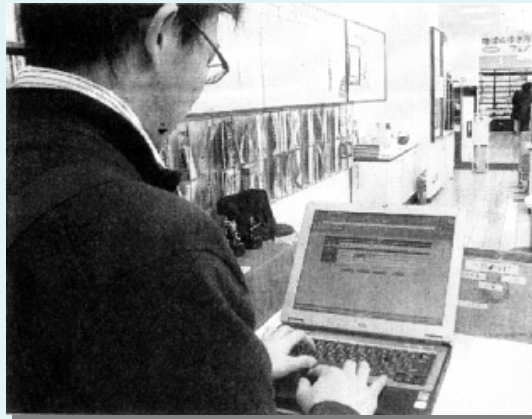
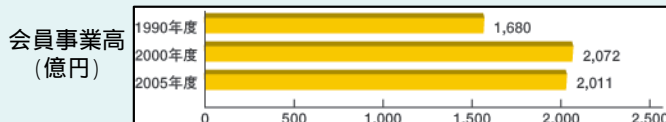
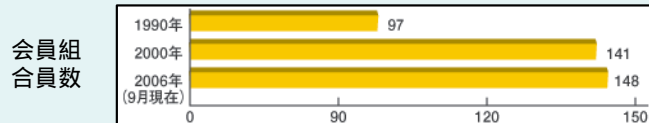
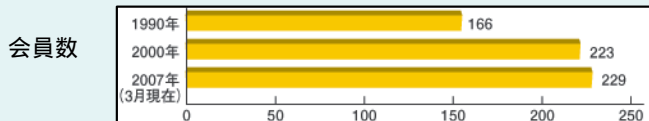
会員  
229会員 (2007年3月末日現在)  
内訳  
213大学生協、10事業連合、6インターカレッジコープ

設立  
1947/5/25 全国学校協同組合連合会発足  
1959/8/19 同上組織を法人化し、全国大学生生活協同組合連合会創立  
1959/8/8 登記終了

会員組合員  
1,483,990人 (2006年9月30日現在)

- 事業概要(全国大学生協連定款より)・会員の指導及び連絡並びに調整
- ・会員以外の各種協同組合及び国際協同組合諸組織並びに教職員・学生諸団体との連絡及び渉外
  - ・会員の構成員である組合員の生活の改善及び文化の向上を図るための事業
  - ・会員の構成員である組合員及び役職員に対する組合事業に関する知識の向上を図る事業
  - ・会員の事業に必要な調査研究及び一般的情報を提供する事業
  - ・会員の事業に必要な物資を購入し、これを加工し、若しくは加工しないで、又は生産して会員に供給する事業
  - ・会員並びに会員の構成員である組合員及び役職員の生活に有用な施設を設置し、利用させる事業
  - ・会員の構成員である組合員の生活の共済を図る事業

- 地区センター
- |           |              |
|-----------|--------------|
| 北海道地域センター | 京滋・奈良地域センター  |
| 東北地域センター  | 大阪・和歌山地域センター |
| 東京地域センター  | 神戸地域センター     |
| 東海地域センター  | 中国・四国地域センター  |
| 北陸地域センター  | 九州地域センター     |



大学生協

リアルタイムの情報  
はやまる作業速度



高校時代と違い、いろいろなことを自分で決めなければいけない大学生活。この大学生活を有意義に過ごすのも、振り返ったときに何も残らないで過ごすのもあなた次第です。大学生協は大学時代に何かをやりたい、自分を磨きたいというあなたをいろんな場面で応援しています。あなたも大学生協の活動に参加して、有意義で充実した大学生活を送りませんか？



「ひたすら使い勝手が良くなって、前日の販売データなど分析系の参照頻度は格段に向上しました。品揃えの充実にもかなり役立っています」

パソコン画面から視線を移しながらこう話してくれたのは、早稲田大学コーププラザブックセンターの辻大祐氏である。各大学生協を束ねる全国大学生生活協同組合連合会(大学生協連)は今年一月から販売管理システムを刷新し、光和コンピューターが大学生協向けに開発したシステム「B-Pos.Un.ivcoop」(以下B-Pos)を採用した。

「B-Pos」は使い慣れた従来システムの基本メニューを残しつつ、パート・アルバイト中心の店舗オペレーションに対応した発展性があるシステム。単品・個店別の日次、週次、月次の販売実績データを抽出する「クイック分析」や「分類別、出版社別、事業連合のランキングを表示する「売上ベスト分析」など、分析系データの参照が簡単スピーディにできるように改善された。身近にあるパソコンからデータにアクセスでき、リアルタイムに情報更新されるため、商品動向を確認しながらの補充発注がスムーズになった。

従来システムでも同様のデータは引き出せていたのだが、分析条件をひとつひとつ入力したうえで予約、分析結果はサーバー上にファイルで投げ返され、それをダウンロードする「予約実行方式」であった。手間がかかる上に結果が得られるまでに一分から長いもので十数分を要し、使い勝手が快適ではなかった。

大学生協連加入の書籍店舗数は全国で約350店。合計年商は約350億円であるから一店あたり一億円を稼ぎだしている計算だ。店舗規模は20坪～60坪がおおたを占め、40坪弱アベレージ。町の小中書店のイメージに重なる。

一般書店同様に業務の大半はパート・アルバイトが担うのだが、従来のシステムでは利用を広めにくかった。しかし、「B-Pos」の導入で冒頭にあるようにスタッフの意識が一変した。

「B-Pos」のトップ画面は次のような構成。

- < 販売データ分析 - ベスト >
  - クイック分析
  - 売上ベスト分析
  - 出版社別販売実績
  - フェア分析
- < 販売データ分析 - 書籍 >
  - 単品分析(一般)
  - 単品分析(キーワード)
- < 注文集約 >
  - 注文集約
  - 大学生協定番及び注文集約

大学生協連には出版社の新刊データから重点新刊を選び、各店の予約注文を集約する業務や書店の常備寄託に相当する「大学生協定番」の業務もあるが、これから一元的に扱えるシステムのため今後の作業改善も期待できる。

大学生協連では今後、出版社と販売情報が共有化できるシステムの構築などを目論んでおり、「さらにシステムをブラッシュアップしてトップ書店に負けられない仕組みを目指したい」と意気込んでいる。